

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 睦朗



第2978回 ガバナー補佐訪問例会 (於、ホテル・サンルート)

- 1、点鐘・握手
- 2、ロータリーソング「我らの生業」
- 3、ゲスト並びにビジターの紹介

国際ロータリー2610地区 平野 明 ガバナー補佐
魚津西RC 木下 茂 会長、宮崎繁幸幹事



- 4、誕生祝



7月25日 川岸芳雄さんのご夫人

妻は四世代7人家族の中心として、また自分の母の面倒を見ています。40年前の6月7日(魚津RC60周年記念式典と同じ日)、寺田祐子さんのお父さん田代先代宮司に、結婚式の御祓いをして頂きました。40周年記念祝賀会は全日本ソフトボール大会終了後(8月下旬)に盛大にすることにしています。魚津RC70周年には50周年を迎えます。



7月29日清水修三。73歳の誕生日を祝って頂き誠にありがとうございます。貴重な時間を頂き、重ねてお礼申し上げます。

孔子のことばに、「70にして己の欲するところに従って行く。但し法を越えず。」とあります。自分がやっているのがどうか自問自答しています。こどもや母ちゃんは「それ以上好きなことをするのか」といいます。私の思いと違ってはいますが、残された人生を一生懸命感受しながら謳歌したいと思っています。インド、ネパールへ行って来ました。また他の国を訪問する計画・勉強をしていますが、日本ほどいい国が無いように思うようになってきました。これからも皆様のご指導をえて、定められた命を目一杯燃え尽きたいと思えます。よろしくお願ひします。



7月30日 愛宕 彰さん。

61歳になります。これで還暦一年終了します。

「若々しいですねー」とよく言われます。家内には「年齢の重みをとられます。風格と人格を共にあるような、年齢に応じた人物になりたい」と思っています。ありがとうございました。

5、会長挨拶(羽田睦朗会長)



ゲスト・ビジターの皆さん、ようこそおいでいただきました。

誕生日の皆さんおめでとうございます。

65歳を過ぎると感動が減ってくると言われています、尚のこと感覚を磨く、感動をする機会をつくる必要があります。わたくしも先日、県立水墨美術館で開催中の「明治工芸の粋」を見てきました。「ロータリーを楽しむ」「趣味を楽しむ」、皆さんも如何ですか。

6、幹事報告(川岸芳雄幹事)

・鴨川一斉清掃事業が7月26日午前8時より午前10時まで行われます。駐車場にスギノマシン(株)本社利用の許可を頂いていますので、全員参加をお願いします。



・次回(7月31日)の例会は、ガバナー公式訪問です。全員出席を。

7、地域環境委員会(中尾登志男委員長)より

7月26日(日)実行される鴨川一斉清掃作業(主催魚津市)に参加される会員は、魚津ロータリーの青いジャンパーを着用し、鎌やスコップなどの道具を各自持参してください。



8、主席報告(仙丸和幸委員長)より

本日の出席 24名、欠席者 6名、出席率は80%です。
2976回のメイクアップは無く、修正出席率は80%変わらずです。



9、ニコボックスの紹介(坪野恭久委員長)

- ・富山第一分区 ガバナー補佐 平野 明様より頂きました。
- ・寺田祐子さんから昨年豪雨による土砂災害に会った東山神社の仮遷一周年記念式典を行いました。

10、委員会報告なし。

11、卓話 (平野 明ガバナー補佐)



- ・60周年記念講演の千宗玄大宗匠の話に感動しました。また盛大に懇親会が行われ、歴史の重みを感じました。
- ・柳生好春ガバナーは野々市RC所属の昭和26年生まれの若く、バイタリテイあふれる人です。地区のテーマはRIテーマ「世界へのプレゼントになろう」をそのまま使用しました。その趣旨は得意な分野を世界に惜しみなく発揮して、奉仕することです。

- ・地区ロータリー財団寄付は、一人当たり100ドルとします。米山記念奨学金は一人当たり六千円です。特別寄付は、一人当たり一万円です。
- ・会員増強目標は、2610地区65クラブで純増65名です。Iクラブ1名です。
- ・魚津RCの委員会構成をみると、委員会が沢山あります。富山県ではまだなっていませんが、石川県では半分ほど、委員会を統合して、5委員会にしている。これは、CLP(Club Leadership Program クラブ管理運営委員会)を設置し、委員会のあり方を含め、研究し、実行するものです。
- ・私は、ロータリーに入ってよかったことは、企業訪問で「TOYOTA」工場を見学したことでロータリーのテーマ「四つのテスト」を実践しているような会社運営でした。私の会社もそのようにしたいものです。
- ・来週の例会は柳生ガバナー訪問です。私も来ますのでよろしくお願いします。

鴨川一斉清掃事業に参加(地域環境委員会担当)

7月26日(日)快晴



多くの皆さんが参加されました。ご苦労さまでした。

{あとがき}

- (1)会員の佐藤俊弘 北日本新聞新川支社長さんに寄稿(この頃思うこと)をお願いしました。最速(7月27日)投稿がありましたので、ご披露いたします。

「男は60歳前後が危ない」。先日、富山市出身の元NHKアナウンサー、古屋和雄さんがこの新川地区で講演した際、耳にした言葉だ。当方、そろそろ、そんな年頃に差し掛かろうとする今日この頃、ちょっぴりショッキングだった。

一般に男性は、60歳を人生のゴールのように捉え、そこから先が見えにくい。一方、女性はというと、子供が自立すると、一抹の寂しさを感じるものの、人生をリセットすることができるという。

わが身、わが家庭を振り返ってみると、当たってはいなくもない。「仕事や会社を離れると、何が残るのか」。地域や趣味？ 残念ながら、否。「家族！」と言いたいところだが、当の彼女、彼らは、どう思っているのやら。

古屋さんによると、阪神大震災発生直後の半年で自ら命を絶った人のうち、多くは男性で、その多くは「60歳前後」だったそうだ。そこまで思い詰めるには、相応の事情があったのだろう。

さて当方、60歳まで、いましばらくの「猶予」がある。この際、自らの来し方・行く末を見つめ直すいい機会かもしれない。「仕事・会社だけで燃え尽きてしまわないように」、準備は怠るまい。

男が元気が無い、と言われて久しい。でも、第一線を引退した「60歳前後たち」が存在感を取り戻せば一。そして、経験に裏打ちされた「何か」を発信できれば一。競争や効率ばかりではない、より厚みのある社会・地域が生まれはしないか。

新川生活はまだまだ駆け出しですが、生き方のヒントは、このロータリークラブの活動の中にもあるのかもしれない。「危ない年頃」を前に、そんな思いがしている。

(どうも、ありがとうございました。これからも よろしく願いいたします。)

(2) 最新情報



- ・東山神社が豪雨災害に遭い、1周年式典無事されご苦労様でした。災害の無いことを祈ります。
- ・早稲の穂が早くも出ました。「コシヒカリ」も間もなく出穂します。秋がそこまで来ています。
- ・地元特産の梨もこかなり大きく成長し、最も早い「親水」は8月6日頃から収穫されます。その後、「幸水」「豊水」「新星」「菊水」「二十世紀」「あきずき」「新高」とおいしい梨が穫れます。
友道梨は明治16年より世代を継いで132年目になりますが、毎年一年生、自然と梨に教えられ、「夕鶴」のように、心を込め、感謝し、大切に仕立てあげています。

(3) 残暑厳しき折、ご自愛のほどお祈り申し上げます。